

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
体育実技	1	通年	演習	2	伊達 幸博
<p>○ 授業の到達目標及びテーマ</p> <p>幼児期の運動遊びによる心身への効果や発達特性に見合った実践の意義やねらいを理解する。また、生涯を通じて運動を日常的に取り入れることの重要性を体感して、運動に親しむ資質や能力の基礎を養う。</p> <p>幼児期の体づくり運動や運動遊びを自主的に展開するための具体的な内容や方法を理解し、基礎的な知識と技能を身に付ける。</p>					
<p>○ 授業の概要</p> <p>子どもの発育・発達に運動遊びが果たす役割は非常に大きく、また、幼稚園・保育園等において運動遊びは生活の一部として取り入れられているので、保育士、幼稚園教諭を目指す者にとって、運動技能の習得は不可欠である。保育園・幼稚園で日常的に取り組んでいる運動遊び・伝承遊びの指導内容を増やし、理論に基づいた指導者としての実践力を高める。</p>					
<p>○ 授業計画</p> <p>第1回 ボールを使った運動遊び 幼児期の運ぶ・転がす・投げる・受ける</p> <p>第2回 ボールを使った運動遊び 幼児期のつく・蹴る・打つ</p> <p>第3回 鉄棒を使った運動遊び 幼児期のぶら下がる・ゆれる・回る</p> <p>第4回 鉄棒を使った運動遊び 幼児期の前回り降り・足抜き回り・逆上がり</p> <p>第5回 縄・輪・棒を使った運動遊び 幼児期の短縄跳び・長縄跳び</p> <p>第6回 縄・輪・棒を使った運動遊び 幼児期の跳ぶ・潜る・回す・引く</p> <p>第7回 年代別リレー遊び 走力向上を目指したプログラム体験</p> <p>第8回 マット・跳箱・平均台を使った運動遊び 前転・後転・倒立・側転</p> <p>第9回 マット・跳箱・平均台を使った運動遊び 開脚跳び・閉脚跳び</p> <p>第10回 サーキット 大型器具であるマット・跳箱・平均台を使った運動遊び</p> <p>第11回 サーキット 身近な器具を使った運動遊び</p> <p>第12回 多種多様な鬼ごっこ 発達に応じたルールについて学ぶ</p> <p>第13回 親子体操指導法 未就園児と保護者の体操指導法について学ぶ</p> <p>第14回 実技試験 指定された種目の実技試験</p> <p>第15回 確認試験およびまとめ 指定された種目の知識・理解の試験</p>					

- 第16回 ボールを使った運動遊び
運ぶ・転がす・投げる・受ける
- 第17回 ボールを使った運動遊び
つく・蹴る・打つ
- 第18回 鉄棒を使った運動遊び
ぶら下がる・ゆれる・回る
- 第19回 鉄棒を使った運動遊び
前回り降り・足抜き回り・逆上がり
- 第20回 縄・輪・棒を使った運動遊び
短縄跳び・長縄跳び)
- 第21回 縄・輪・棒を使った運動遊び
跳ぶ・潜る・回す・引く)
- 第22回 年代別リレー遊び
基礎動作を含んだリレーを行う
- 第23回 マット・跳箱・平均台を使った運動遊び
前転・後転を中心市
- 第24回 マット・跳箱・平均台を使った運動遊び
開脚跳び、側転を中心に
- 第25回 屋外施設の運動遊び
公園やフィールドアスレチックを利用した運動遊び
- 第26回 身近なものを使った運動遊び
コーン、なわ、フープ、新聞紙などを用いたサーキット
- 第27回 表現する運動遊びみんなでフォークダンス
みんなでフォークダンス、リズム体操
- 第28回 模擬授業の研究
- 第29回 模擬授業の研究
- 第30回 1年間の振り返りとまとめ

○テキスト

適宜配付する資料

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」(最新版) 文部科学省. フレーベル館

「保育所保育指針解説」(最新版) 厚生労働省. フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館

「幼児体育理論と実践」前橋 明編集代表 大学教育出版

「幼児期における 運動発達と運動遊びの指導」 杉原隆、河邊貴子 ミネルヴァ書房

「保育と幼児期の運動あそび」 岩崎洋子 他 萌文書林

○学生に対する評価

授業への参加態度30% 実技試験30% 知識理解20% 課題レポート20%の総合評価とする。